



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 大日精化工業株式会社
 コード番号 4116 URL <http://www.daicolor.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 推進機構担当
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 高橋 弘二
 (氏名) 榎原 俊哉

TEL 03-3662-7128

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	121,037	△1.7	8,116	6.0	8,564	4.9	6,135	18.6
27年3月期第3四半期	123,141	3.4	7,657	17.8	8,167	13.1	5,173	18.2

(注)包括利益 28年3月期第3四半期 5,911百万円 (△25.3%) 27年3月期第3四半期 7,911百万円 (△3.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	66.09	—
27年3月期第3四半期	55.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	180,301	81,694	44.1
27年3月期	177,458	77,184	42.2

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 79,537百万円 27年3月期 74,970百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	6.00	—	7.00	13.00
28年3月期	—	7.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	168,000	3.1	10,000	7.9	10,300	2.8	6,700	18.3
								円 銭
								72.18

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	93,065,554 株	27年3月期	93,065,554 株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	236,331 株	27年3月期	230,902 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	92,831,843 株	27年3月期3Q	92,841,015 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に關しましては添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の経済環境は、中国や新興国経済の減速、資源価格の大幅下落や地政学リスクの高まりなど期の後半にかけて不透明感が増してきました。一方で、利上げを実施した米国経済は緩やかな景気拡大を続けており、わが国経済も力強さを欠くものの企業収益の改善を背景として回復基調が続きました。

このような経済環境のもとで、当連結会計年度の売上高は、1,210億3千7百万円（前年同期比1.7%減）となりましたが、営業利益は高付加価値製品の拡販の成果もあり81億1千6百万円（同6.0%増）、経常利益は85億6千4百万円（同4.9%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は特別損失の計上額が減少したことなどにより、61億3千5百万円（同18.6%増）となりました。

次に事業セグメントの業績についてご報告いたします。

なお、営業利益につきましては、全社費用等の配分前で記載しております。

(化成品事業)

当事業は、無機・有機顔料、各種着色剤、情報記録関連材料の製造・販売を行っております。情報記録関連の製品は引き続き好調を継続しましたが、汎用顔料やカラーフィルター用の顔料の販売が低迷致しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は182億6千1百万円（同0.3%増）となりましたが、営業利益は30億2千8百万円（同2.9%減）となりました。

(化学品事業)

当事業は、各種合成樹脂着色剤・コンパウンド、各種コート材の製造・販売を行っております。車両業界向け着色剤のうち海外向けは引き続き好調を継続し、国内向けについても上向きつつあります。一方で、飲料用途向けなど暖冬の影響を受けた製品群もありました。また、アジアの連結子会社の業績は引き続きまだら模様の状況となりました。

これらの結果、当セグメントの売上高は655億1千万円（同3.6%減）となりましたが、営業利益は38億円（同2.4%増）となりました。

(高分子事業)

当事業は、高分子製品、天然高分子製品の製造・販売を行っております。車両業界向けの内装用材料は、北米需要の増加にけん引され伸長致しました。情報記録関連材料の特殊コーティング剤、アパレル分野向けポリウレタン樹脂の販売も好調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は136億7百万円（同1.6%増）となり、営業利益は25億9千万円（同10.6%増）となりました。

(印刷総合システム事業)

当事業は、各種印刷インキの製造・販売及び事業に付帯する商品とサービスを提供しております。包材業界向けグラビアインキは、飲料及び食品向けともに堅調に推移しました。東南アジア市場においても生活関連向けや食品関連向けを中心に順調に推移しました。一方、オフセットインキは引き続き需要が減少しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は225億3千7百万円（同0.8%増）となり、営業利益は23億6百万円（同21.7%増）となりました。

(その他事業)

当事業は、グループ各社への不動産賃貸及び金融事業等を行っております。

当セグメントの売上高は11億1千9百万円（同10.6%減）となり、営業損失は5千万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は1,803億1百万円となり、前連結会計年度末と比べ28億4千3百万円増加いたしました。これは、「退職給付に係る資産」が増加したことなどにより投資その他の資産が28億8千7百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は986億6百万円となり、前連結会計年度末と比べ16億6千7百万円減少いたしました。これは、「短期借入金」及び「長期借入金」が減少したことなどによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は816億9千4百万円となり、前連結会計年度末と比べ45億1千万円増加いたしました。これは、「親会社株主に帰属する四半期純利益」の計上により「利益剰余金」が増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成27年5月12日に公表した以下の数値より変更はありません。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
通期	168,000	10,000	10,300	6,700

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項(4)、連結会計基準第44－5項(4)及び事業分離等会計基準第57－4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純利益は45百万円減少しております。また、当第3四半期連結会計期間末の資本剰余金が45百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,694	23,122
受取手形及び売掛金	47,840	50,935
たな卸資産	26,139	27,694
その他	2,802	2,318
貸倒引当金	△77	△60
流動資産合計	103,400	104,010
固定資産		
有形固定資産		
土地	19,050	18,802
その他(純額)	25,696	25,347
有形固定資産合計	44,746	44,150
無形固定資産		
その他	1,325	1,267
無形固定資産合計	1,325	1,267
投資その他の資産		
投資有価証券	19,735	20,672
退職給付に係る資産	5,397	6,943
その他	2,959	3,352
貸倒引当金	△106	△95
投資その他の資産合計	27,985	30,873
固定資産合計	74,057	76,290
資産合計	177,458	180,301
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,108	31,123
短期借入金	19,188	17,671
1年内返済予定の長期借入金	9,914	9,772
未払法人税等	1,391	608
賞与引当金	2,133	1,135
環境対策引当金	181	93
その他	5,187	5,229
流動負債合計	65,104	65,634
固定負債		
長期借入金	21,349	19,129
役員退職慰労引当金	372	186
関係会社整理損失引当金	539	159
環境対策引当金	461	414
退職給付に係る負債	8,730	8,746
その他	3,716	4,335
固定負債合計	35,169	32,972
負債合計	100,273	98,606

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,039	10,039
資本剰余金	9,193	9,238
利益剰余金	48,097	52,932
自己株式	△99	△102
株主資本合計	67,231	72,108
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,188	6,911
繰延ヘッジ損益	△14	△9
為替換算調整勘定	1,376	104
退職給付に係る調整累計額	188	421
その他の包括利益累計額合計	7,739	7,428
非支配株主持分	2,213	2,157
純資産合計	77,184	81,694
負債純資産合計	177,458	180,301

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	123,141	121,037
売上原価	102,858	99,757
売上総利益	20,282	21,279
販売費及び一般管理費	12,624	13,163
営業利益	7,657	8,116
営業外収益		
受取利息	54	58
受取配当金	206	349
持分法による投資利益	146	217
為替差益	142	—
その他	559	564
営業外収益合計	1,108	1,189
営業外費用		
支払利息	488	453
為替差損	—	244
その他	110	43
営業外費用合計	598	741
経常利益	8,167	8,564
特別利益		
固定資産売却益	489	165
関係会社整理損失引当金戻入額	—	112
受取保険金	32	94
その他	36	94
特別利益合計	558	466
特別損失		
災害による損失	32	80
固定資産除却損	63	67
環境対策費	179	81
関係会社整理損	394	—
その他	262	41
特別損失合計	932	272
税金等調整前四半期純利益	7,793	8,758
法人税、住民税及び事業税	1,690	1,806
法人税等調整額	835	695
法人税等合計	2,526	2,502
四半期純利益	5,267	6,256
非支配株主に帰属する四半期純利益	93	121
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,173	6,135

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	5,267	6,256
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,728	737
繰延ヘッジ損益	△0	5
為替換算調整勘定	531	△1,169
退職給付に係る調整額	349	233
持分法適用会社に対する持分相当額	34	△152
その他の包括利益合計	2,644	△345
四半期包括利益	7,911	5,911
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,752	5,824
非支配株主に係る四半期包括利益	159	87

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額(注2)
	化成品 事業	化学品 事業	高分子 事業	印刷総合 システム 事業	その他 事業	計		
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	18,211	67,925	13,393	22,358	1,252	123,141	—	123,141
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	391	24	79	0	12,462	12,958	(12,958)	—
計	18,603	67,950	13,472	22,358	13,714	136,099	(12,958)	123,141
セグメント利益 (営業利益)	3,118	3,713	2,341	1,896	74	11,143	(3,485)	7,657

(注) 1. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用3,485百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務、経理などの本社機構の費用及び研究開発の費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注2)	四半期連 結損益計 算書計上 額(注3)
	化成品 事業	化学品 事業	高分子 事業	印刷総合 システム 事業	その他 事業 (注1)	計		
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	18,261	65,510	13,607	22,537	1,119	121,037	—	121,037
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	394	23	16	56	12,058	12,549	(12,549)	—
計	18,656	65,533	13,624	22,594	13,177	133,586	(12,549)	121,037
セグメント利益 (営業利益) (△損失)	3,028	3,800	2,590	2,306	△50	11,676	(3,560)	8,116

- (注) 1. 「その他事業」の営業損失は、当事業において当社グループ会社等への不動産管理、金融事業などの役務提供を営む会社が含まれているためであります。当事業に係る収入は営業外収益として計上しており、また営業費用については各報告セグメントへの配賦を行っておりません。
2. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用3,560百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務、経理などの本社機構の費用及び研究開発の費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。